

第6学年 道徳学習指導案

平成24年6月12日(火) 第5校時

指導者 教諭

在籍児童数 32名

- 1 主題名 真の自由 [1-(3) 自由・責任] 関連 1-(2) 努力、実行力
資料名 「自由学習ノート」(出典 埼玉県道徳教材資料集(彩の国の道徳))

2 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

本主題は、内容項目1-(3)「自由を大切にし、自律的で責任のある行動をする。」ことをねらいにしている。自由には、自分の正しい意志の伴ったものと、自由のはき違えともいうものがある。自由には、自分で自律的に判断し、行動したことによる自己責任が伴う。自分の自由な意思によっておおらかに生きながらも、そこには内から自覚された責任感の支えによって、自ら考え、判断し、実行するという自律性が伴っていることが求められる。この内容項目の根本的考え方は、中学年「正しいことと判断したことは、勇気を持って行う。」から発展し、中学校の「自立の精神を重んじ、自主的に考え、誠実に実行してその結果に責任をもつ。」に発展していくものであり、児童が今後社会に出てからも必要不可欠な考え方である。

6年生は学校の最高学年でもあり、様々な物事について理解し、その善し悪しの判断基準がほぼ備わってきていると言える。この段階の児童は、自主的に考え、行動しようとする傾向が強まる時期である。しかし、その一方でそれらを分かっているながらも、物事を自分の都合のいいように考え誰かに忠告されるまで間違った行動をとってしまった場面が多く見られたり、自由のとらえ違いをして自分勝手なふるまいをしてしまったりすることも見られる。

自由な考えや行動のもつ意味やその大切さ、さらに、それに伴う自分の責任を踏まえた自律的な行動について理解を深め、児童が生活の中で実践できる心と態度を育みたいと考え、本主題を設定した。

(2) 児童の実態について

本学級の児童は男女関係なく仲がよく、休み時間にはみんなで声をかけ合って外に遊びに行ったり、たわいもない話で盛り上がったりと、毎日活発で元気に楽しく過ごしている。

また、最上級生としての自覚が芽生え始め、学校行事や委員会活動では6年生としての責任をもち一人ひとりが一生懸命学校の代表として活動に取り組んでいる。

そのような生活の中で気になることは、何が正しいか、どうする事が最善の行動なのかが分かっているにもかかわらず、誰かが先に行動したり誰かに忠告されたりするまで自分から行動できないところである。例えば毎日の宿題や自主学習の様子を見ていると、提出はしているのだが、丸付けが済んでいなかったり、乱雑な字で書いてあったりすることが多い。本人に直接聞いてみると、やはりやるべきことはきちんと理解していることがほとんどで、忙しい、時間がなかった…等と言いつつとらえられるような返事が目立つ。学校生活においても似たようなことが多くあり、児童の意志の弱さ、自分への甘さがあると考えられる。

そこで、本時では、自律的に行動することの本当の意義やその大切さについて考える機会とし、それらを行動に移そうとする心と態度を育てたい。そして、学級全体に広げることで学級全体の意識・行動の向上につなげられるよう、事後の指導にも配慮し、支援指導していきたい。

また、本時を行うに当たって、児童の実態を把握し、指導に生かすために道徳アンケートを実施した。

道徳の時間に関するアンケート

5月23日実施 欠席1名

質問 1) 道徳の時間は好きですか。

好き…7人

- ・色々な人の意見が聞けるから
- ・今までの自分を見直せるから
- ・その人の気持ちが分かるから
- ・自分の意見を言っても間違いはないから楽しく発表できる
- ・自分の意見と人の意見を比べられるから
- ・話が面白いから
- ・みんなの意見が聞けてどう行動すればいいかが分かるから

まあまあ好き…16人

あまり好きではない…7人

- ・自分の気持ちを発表するのが恥ずかしいから
- ・人の気持ちがあまり分からないから
- ・話し合いが好きではないから

きらい…1人

質問 2) 道徳の時間は大切だと思いますか。

大切…19人

- ・日常で役に立つことがあるから
- ・大人になっても役に立つときがあると思うから
- ・話の中に自分でもできることがあるから
- ・思ったことを話し合い、自分で取り入れられるから
- ・気持ちを考える時間だから
- ・自分がやってしまったことを反省できるから

まあまあ大切…11人

あまり大切でない…1人

- ・大切だと思った時が少ないから

大切でない…0人

質問 3) これまでに道徳で学んだことを思い出して行動移したことがありますか。

ある…20人

- ・大きな声でみんなにあいさつした。
- ・電車で席をゆずった。
- ・言われていやな事は人に言わないようにした。
- ・あきらめないで努力した。
- ・「ありがとう。」という言葉を使った。

ない…11人

このアンケートから、本学級の児童は道徳の時間に関しては「好き」「まあまあ好き」と答える児童が多い。普段なかなか自分の意見を発表できない児童からは、道徳の時間であれば発表できるからという意見もあり、友達との話合いを通して意見の交流がもてることが大きな理由であることがわかる。加えて、道徳の時間が役に立つ、自分でできることがあるから等の理由で道徳の時間が大切だと答えている児童がほとんどである。しかし、道徳で行ったことを実際に思い出して行動にうつしたことがある児童数は減少しており、学んだことを行動に移すことが本学級の課題の一つであると言える。

また、本主題に迫るために現在取り組んでいる自主学習について、本学級の児童がどのように考えているか以下のようなアンケートを行った。

道徳アンケート

5月28日実施

質問)「自主学習」をどう思いますか？

- | | |
|---------|--|
| 〈肯定的意見〉 | <ul style="list-style-type: none">・自分の好きな事を調べられる・やる事が決まっていなくて楽しくできる・自分で考える力がついて、中学で役に立ちそう・好きじゃないけど自分のためになる・勉強になる・自分だけのノートになるのがうれしい・復習できる・苦手を克服できる |
| 〈否定的意見〉 | <ul style="list-style-type: none">・時間がない時は大変・宿題以外にやるとつらい・宿題が多くなる・大変・面倒くさい・どうしてやらないといけないのか分からない・自主学習がなければ宿題が減るのに…と思う |
| 〈その他〉 | <ul style="list-style-type: none">・その日の気分で行っている・何をやるか悩む・何をやればいいのか分からない |

このアンケートから、本学級の児童は、現在取り組んでいる自主学習について、「勉強になる」、「自分だけのノートになるのがうれしい」、「復習できる」、「苦手を克服できる」等、自分にとって自主学習は必要な取り組みであるという認識がある。その一方で、「宿題以外にやるとつらい」、「面倒くさい」、「どうしてやらないといけないのか分からない」等の否定的な意見もあり、主人公陽平の気持ちに深く共感させる際の材料としたい。

加えて、何をやるか悩む、何をやればいいのか分からない等の意見もあった。本時を通して、「自由」な

取り組みとは何か、本当の「自由」とは何かについて向き合い、自分のとるべき行動についても具体的に考えさせたい。そして、自律的に行動することの本当の意義やその大切さについて考える機会とし、それらを行動に移そうとする心と態度を育てたい。

(3) 資料について

本資料は、「自主学習ノート」が配られるところから始まる。この「自主学習ノート」は自分の力をのばすために取り組むこと、そして先生には週に一回提出すればよいことになっている。また、担任の先生からは、このノートの取り組み内容は自分で自由に考え自分のペースで行ってよいため、毎日行わなくてもよいとの説明があった。主人公の陽平は面倒だと思いつつも、毎週、何か適当に絵を書いてノートを提出した。そんなある日、ノートを目にした母親に、「それでいいのかしらね。」と指摘されるが、陽平は「自由学習なんだから口出ししないでくれ。」と言葉を返した。

学校では、仲よしの健二が自由学習の昆虫調べを楽しそうに行っている姿を目にする。昆虫調べが好きだから昆虫調べをすることにしたという健二に「陽ちゃんは？」と聞かれ、「まあ、いろいろとね。」と、答えて自分の席に戻ってしまう。帰りの会では健二を含め友だちの自由学習ノートが紹介され、先生の「自由だから、自分にあった自分にあった学習ができるわね。」という話に、陽平は自分のノートの「自由」の文字を見つめた。

本資料は、面倒だという考えがあったばかりに「自由」という逃げ道に逃げた主人公が、「自由」なのだから、自分の好きな昆虫を調べようと学習を進めてきた健二の様子を見て自分のとった行動がどうであったのか考えさせている。本学級の児童も同じような経験、思いをしている児童がいると考えられる。そのため、本時では子ども達の素直な発言から陽平の気持ちに共感させた上で陽平・健二の「自由」のとらえ方の違いについて話し合わせたい。そして、価値に迫ることで自由の意味について考え、自律的に行動する心と態度を育てたい。

3 研究テーマとのかかわり

本校の研究主題

『人とのかかわりを大切にし、共によりよく生きようとする児童の育成』
～温かい人間関係を通して、心と体のよりよい発達をめざす～

○高学年のテーマ

「話し合い活動を深め、自己を見つめ直し、よりよく生きようとする意欲を高めることができる児童の育成」
上記のテーマを具現化するために、本学級では次の視点に重点をおき手だてを考えた。

【視点1】児童の実態を生かした授業の工夫

事前のアンケートにより、児童、または学級全体の実態を把握することで、意図的指名や話し合いのグループ作りに役立て、話し合いの活発化により他者の意見を多く取り入れられるようにする。

【視点2】見やすい板書の工夫

本時は主人公の気持ちの変化を知ることによってねらいにせまることができる。そこで、板書の中身を精選し、色や場面絵などの掲示場所で主人公の気持ちの変化をわかりやすくする。

【視点3】話し合いを深めるための工夫

年度当初より、道徳授業での話し合い活動(グループトーク)を取り入れ、主体的に話し合いをすることによって積極的に他者の意見を取り入れたり、自分の考えを伝えたりすることができるようにする。

【視点4】「自己を見つめる時間」の工夫

自分と資料を照らし合わせて、これからの生活を変えていこうという意欲が出てくるよう、「見つめる」時間でプリントに書かせることで、自分の言動を振り返り、見つめ、今後の生活に生かすことができるようにする。また、本時はこころのノートを活用し、最後に詩を紹介する。

4 本時のねらい

自由の意味について考え、自律的に行動する心と態度を育てる。

5 学習指導過程

段階	学習活動と主な発問	予想される児童の反応	指導上の留意点 ★評価	時間
導入	<ul style="list-style-type: none"> ○意識調査の提示 アンケートの結果を聞く。 ○今日の学習の課題を明確にする。 ・今日は自由について考えていきましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの結果を聞いて学級の友達がどのように考えているのかわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級の友達がどのように考えているのかの、アンケート結果を提示する。 ・本時の観点を児童に伝え、本時の方向性を示す。 ・本時の課題について話し合おうとする意欲をもたせる。 	2分
展開	<ul style="list-style-type: none"> ○資料について知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の条件、状況を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・条件状況を理解しやすいよう、人物絵を活用する。 	1分
	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 自由学習ノートが配られる。 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の力をのばすために取り組む。 ・週に一度、水曜日に提出する。 ・自由に内容を考えて、自分のペースで取り組む。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ○資料の判読を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主人公の気持ちを考えながら聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・共感できるところ、陽平の気持ちで考えたいところに線を引きながら判読を聞かせる。 	3分
	<ul style="list-style-type: none"> ○話し合いたいところを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いたいところ、心に残ったところを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際にノートに「雑な字」で「自主学習ノート」と書かせ、陽平の気持ちをおさえる。 	6分
	<ul style="list-style-type: none"> ○話題について話し合う。 1 「もう、うるさいな。自由学習なんだから口出ししないでくれ 	<ul style="list-style-type: none"> ・先生は「自由」って言ってたから自分で自由に 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達の実態、素直な発言に迫り、陽平の気持ちを 	5分

		<p>よ。」といった時の主人公の胸の内</p>	<p>やってるんだから、口出しされる筋合いはない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自由」なんだから書いていけば先生に怒られない。 ・めんどくさい。 ・お母さんに言われてやったら、「自由」の意味がない。 ・提出しないわけにはいかないし。 ・言われたらもっとやりたくなる。 ・やろうと思ってたのに、そのタイミングで言われたら・・・。 	<p>押さえ、に共感できるようにする。</p>	
<p>展開</p>	<p>深める</p>	<p>2「まあ、いろいろとね。」と言って席に戻った時の主人公の胸の内</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなはしっかりやっているのに、自分はやっていなくて恥ずかしい。 ・もやもやした、嫌な気持ち。 ・健二はどこが楽しいの？ ・自分だけ、「自由」と思いついでいた。 ・僕と健二の考え方が違うな・・・。 ・健二に裏切られた。 ・先生は自由って言っていたんだから簡単にやればいいのに。 ・自分に対する「反省」と健二に対する「怒り」 ・自分と健二の「自由」の種類が違うのかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小グループの話合い活動を行い、様々な考え方に触れられるようにする。 ・話合い活動で友達の考え方に触れることで、自分の考えと比較できるようにする。 ・話合い活動では、陽平と健二の二つの考え方が出ることが予想される。2つの意見を比較しやすいよう整理できるように板書にまとめる。 <p>★陽平、健二の考えを自分の意見と比較しながら整理し、自由について考え始めた主人公の気持ちを考えることができたか。(観察・発言)</p>	<p>12分</p> <p>7分</p>

展開	深める	3 「自由」という文字を見つめた主人公の胸の内	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えていた「自由」と少し違った。 ・本当の自由学習は健二のように目的をもってやるべきだった。 ・いい加減に取り組んでいたことを後悔している。 ・毎日じゃなくても自分でできることを丁寧にやろう。 ・「自由」の度が過ぎていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健二の考え方に触れたことで、陽平の考え方が変容していく様子を押さえる。 ・児童がじっくり自分の考えをまとめられるよう、発問後少し時間をおいてから指名する。 <p>☆主人公が思う「自由」が本当の自由だったのか考えることができたか。 (発言)</p>	
	みつめる	○今日の授業を振り返って、自由について思ったことを書きましよう。	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで「自由」と聞くと簡単で何でもありだと思っていたけれど、本当は難しく自分ですっきり考えなければならぬと思う。 ・「自由」についてあまり考える機会がなかったけれど、何かする時には目的をもって取り組む事が大切だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの自分自身を振り返って書かせる。 ・今後、どのように物事を考えたり行動したりしたらよいか考えさせる。 ・机間指導から価値に基づいた意図的指名を行い、道徳的価値を学級に広める。 <p>☆今までの自分自身を振り返り、これからどのようにしていくべきか深く考えることができたか。 (発言・ワークシート)</p>	7分
	終末	あたためる	○心のノートの朗読 ・「自由ってなんだろう」を朗読する。		<p>☆本当の自由について深く考えることができたか。 (観察)</p>

6 評価の観点

○児童側の観点

- ・主人公や登場人物の気持ちになって、深く考えることができたか。(発言)
- ・話し合い活動により、他の児童の意見や考えを聞き、自分の考えを広げることができたか。(観察)
- ・自己を見つめ、今後の生活に生かすことができるか。(振り返りシート)

○教師側の観点

- ・柱だて、発問、板書により本時のねらいにせまることができたか。
- ・時後の児童の変容を見届けることができるか。

7 板書計画

表紙に書かれた「自由」という文字を見つめた。

「自由」とは…

- ・みんなはやっているのに、自分はやっていなくて恥ずかしい。
- ・健二は、どこが楽しいの？
- ・自分だけ「自由」と思いすぎていた。
- ・自分の好きな事が学習できる。
- ・はじめは面倒だったけれど、いろいろ考えてよかったな。

「まあ、いろいろとね。」

「もう、うるさいな。自由学習なんだから口出ししないで」

けんじ ようへい

面倒くさい 仲よし

自由学習ノート

自分の力をのばすもの

週一回提出

内容は自由

自分のペース

適当にやればいい 重たい気持ち

適当に絵を描いて提出

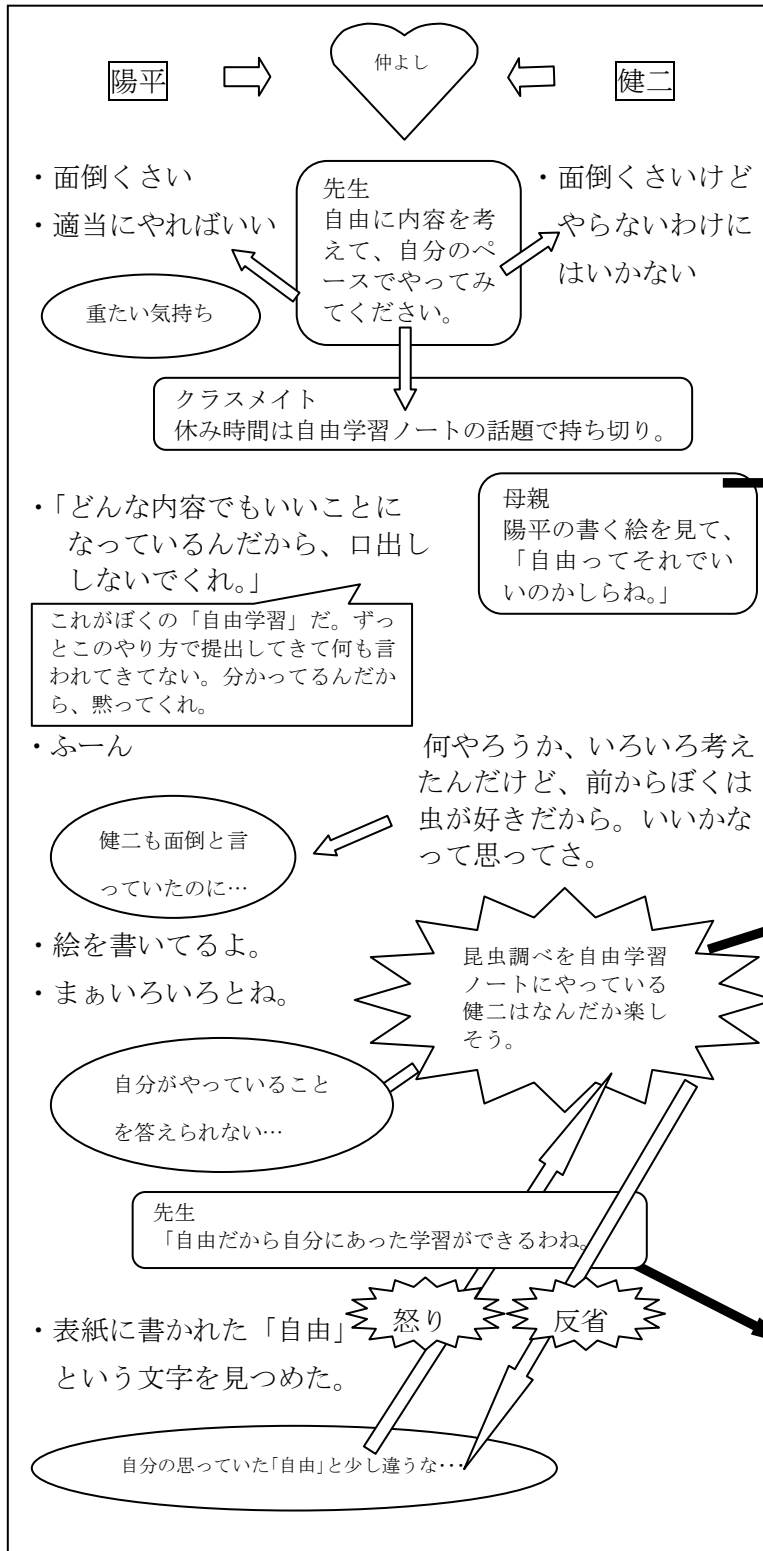
- ・いい加減に取り組んだことを後悔している。
- ・本当の自由学習は健二のように目的をもたないとな…。
- ・自分でできることを丁寧にやろう。
- ・自分の考えていた「自由」とは少し違ったな…。
- ・だめってわかってたのに…。

8 資料分析

スタートの条件・状況 主人公；陽平
 健二とは仲よしの陽平。先生から自由学習ノートが配られた。陽平はノートの表紙に「自由学習」と雑な字で書いた。それから毎週、何か適当に絵を書いてノートを提出した。

《話題につなげたい場面》 《動き、気持ちの変化、かかわりあい、キーワード等》 《話合いの柱》

自由学習ノートが配られた。



いつものように急いで絵を書いている陽平に母親が声をかける。

「もううるさいな。自主学习なんだから口出ししないでくれ。」と言った陽平の胸の内

「まあいろいろとね。」と言って席に戻った陽平の胸の内

この前書いたページを一枚めくり、新たなページに向き合った陽平。

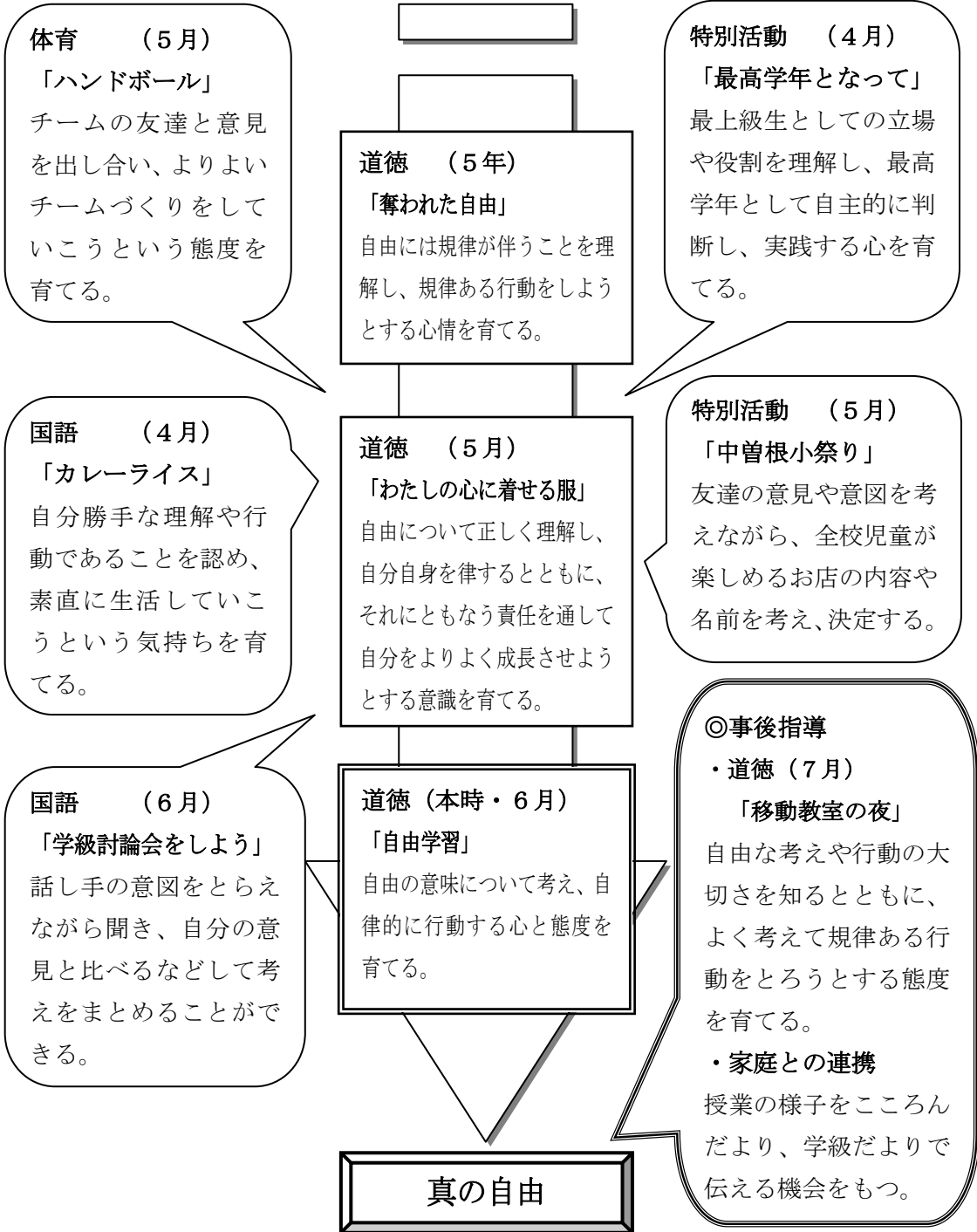
「自由」と言う文字を見つめた陽平の胸の内

本時のねらい：内容項目 1-(3)自由・責任
 自由の意味について考え、自律的に行動する心と態度を育てる。

総合単元名	真の自由（4月～7月）	1－（3）自由・責任 1－（2）努力・実行力
--------------	--------------------	---------------------------


ねらい 『自由の意味について考え、自律的に行動する心と態度を育てる。』

オリエンテーション
 道徳授業だけでなく、他教科等の時間を通して「自由」という意味を理解し、よりよい学校生活を送るため判断・行動して
 いこうとする意識を高める。



10 備考

①ころんカード (振り返りカード)

ころんカード 「題名」 月 日 名前) (
★今までの自分を振り返り、今日の学習を通して思ったことを書きまてみよう。 (登場人物の真似したいところや、自分にとって大切なことはあつたか。)												
												

②心のノート「自由ってなんだろう」